

豊川市地域公共交通計画（案）の意見募集結果と市の考え方

提出された意見等の要旨、意見等に対する市の考え方は次のとおりです。

なお、単に賛否の結論だけを示した意見、第三者を誹謗中傷するもの等についてはその内容を公表せず、意見等に対する市の考え方は示しません。

項目：8-2. 数値目標に関すること

No.	意見等の要旨	市の考え方
1	為当町には、バス路線を少し変更することにより半径300mバス停・駅勢圏カバー率を増加させることのできる地域があるので、バス路線の見直しを検討してほしい。	豊川市コミュニティバスの改善の方向性は「現行経費の範囲内で運行本数の増便を図るため、バス路線を短縮化する」(59ページ、75ページ)こととしているため、延伸を伴うバス路線見直しの早期実現は難しいと考えていますが、いただいたご意見につきましては参考にさせていただきます。

項目：9-1. 公共交通路線関連事業に関すること

No.	意見等の要旨	市の考え方
2	本市のバスは、市役所、市民病院、駅などの主要施設への移動手段としては便利だが、高齢者が日常的に困っている買い物での移動手段としては不便である。買い物に便利な路線を新設することも考えられるが、予算の制約もあるため難しいであろう。そこで、既存のバスのように単独運行するのではなく、例えばスーパーなどの民間事業者と共同運行することなども検討してはどうか。	今後バスの運行主体を検討する際には参考にさせていただきます。
3	本市のバスは、電車との乗継が悪いため市外からの電車来訪者に利用してもらうことが難しい。	電車との乗継にも留意したダイヤ設定を心がけていますが、1路線1台で運行しているため、電車との乗継が悪い便も生じています。いただいたご意見につきましてはダイヤを検討する際には参考にさせていただきます。

項目： 9 - 2. 利用促進関連事業に関すること

No.	意見等の要旨	市の考え方
4	本市のバスの1番の問題点は、利用者が乗車に不慣れなことである。無料乗車イベントを開催するなど周知の強化を図ってはどうか。	令和2年度より豊川市生涯学習出前講座のメニューに無料体験乗車などを内容とするコミュニティバス乗り方教室を追加しました。計画86ページにありますとおり、コミュニティバス乗り方教室を継続して実施していきたいと考えています。
5	本市のバス、電車の外国語表示は不十分である。これらの点を改善し、高齢者以外に対する利用促進を図ってはどうか。	今後利用促進策を検討する際には参考にさせていただきます。
6	市内の老人会へ働きかけるなどして利用者の増加を図ってほしい。	今後利用促進策の対象を検討する際には参考にさせていただきます。